

## 令和5年度（2023年度）建設常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和5年（2023年）7月26日（水）
- 2 視察者 建設常任委員会（8名）  
松村秀逸（委員長）、荒川知章（副委員長）、城下広作、坂田孝志、増永慎一郎、河津修司、堤泰之、星野愛斗

### 3 視察の概要

#### （1）球磨大橋

球磨郡錦町木上地内の一級河川球磨川に架かる一般県道覚井一武線の球磨大橋は、令和4年9月、台風第14号の大雨に伴う河川の増水により橋脚等に損傷被災が発生した。



橋梁の本格的な復旧には高度な知見と技術力が必要であることから、県から国に対し権限代行による本復旧要望を行い、橋梁は国の権限代行により、取付

道路は県によって、連携して本復旧に取り組んでいる。

今回の視察では、橋の復旧について説明を受けるとともに、仮橋を見学した。

地域振興局から、国の支援の下、仮橋で応急復旧を進めるということで、国土交通省が有事に備えて保有されているものを貸与いただき、令和5年3月26日に仮橋の通行を開始した、現在測量、調査、本復旧に向けた設計等を進めており、引き続き国土交通省と連携しながら、早期復旧に取り組んでいくとの説明があった。

#### （2）青井被災市街地復興土地区画整理事業地

令和2年7月豪雨により、人吉市中心部は甚大な浸水被害を受けた。被災からの一日も早い復興を果たすため、県は、青井被災市街地復興土地区画整理事業を進めている。

今回の視察では、事業の進捗状況とまちの復旧の考え方について説明を受けた。

地域振興局から、緊急輸送道路にも指



定されている国道445号を中心に区画整理を進め、公園とか道路の整備を行うこととしており、今回は、区画整理事業と合わせて、この青井阿蘇神社の導線、球磨川から青井阿蘇神社の楼門までの区間全体のにぎわいの創出を人吉市と連携を取りながら進めているとの説明があった。

### (3) 球磨村災害公営住宅

令和2年7月豪雨で大きな被害が出た熊本県球磨村では、渡地区に地上7階建てで60戸が入居できる災害公営住宅を建設中であるほか、一勝地地区に8戸分の災害公営住宅を建設済み、神瀬地区には小規模改良住宅を今後7戸建設予定であり、村民の流出を食い止めることが期待されている。

今回の視察では、事業の進捗等について説明を受けた。

球磨村役場から、入居希望が多く、抽選を行いながらほぼ入居者が決定した、発災当時の人口が約3,500人、今2,850人ぐらいということで、700人弱人口が減少している、子供を持つ家庭を中心に村外に転出される方が出ているので、今後人口減少にどう対応していくかというのが一つの大きな課題であるとの説明があった。



### (4) 佐敷川河川改修箇所

二級河川佐敷川水系佐敷川・宮の浦川・田川川では、令和2年7月豪雨により、住家1,024戸、事業所350戸が浸水する甚大な被害が発生した。

この災害を受け、佐敷川本川及び支川の宮の浦川・田川川の一部を含む延長約8.7kmについて、同規模の洪水に対して再度災害防止を図るため、災害復旧助成事業（改良復旧事業）による改良復旧に取り組んでいる。

今回の視察では、事業の進捗等について説明を受けた。

地域振興局から、令和2年7月豪雨時の雨量を安全に流下させるため、河川断面を広げられるところは広げ、堤防を上げられるところは嵩上げを行い、河床掘削も組み合わせながら事業を進めている、本川は100%近く終わっており、事業完了年度の令和6年度まで、残る田川川と宮の浦川上流のほう工事を粛々と進めていくとの説明があった。

